

国内最大級！「鹿沼さつき祭り」へ



鹿沼市（佐藤信市長）の招待を受けて村民43人が「鹿沼さつき祭り」を訪れました。この催しは「鹿沼市花木センター」などを会場に全国の愛好家が育てた約300点のサツキを展示し、約1万5000本のサツキと特産品の販売等を行うものです。参加者は見事なサツキを和やかに観賞した他、鹿沼名物「にらそば」を味わい、黒川河畔では花火大会を観覧。鹿沼市の厚意により楽しい一日を満喫しました。

◀見事な枝ぶりのサツキが所狭しと並びます

石井延真さん（白石）の厚生労働大臣表彰



石井延真さん（写真左）が厚生労働大臣表彰を受けました。この表彰は、長年、民生委員・児童委員として活動してきた石井さんの社会福祉への貢献を称えるものです。

表彰状は、この日、飯野出張所の村長室で、村長から石井さんに手渡されました。表彰状を手にした石井さんは、「地域の皆さんに教えられ、助けられてやってきました」と周囲への感謝を述べ、表彰の栄誉をかみしめていました。

▶長年の功績を称える表彰です



「子育てサロン」みんなで遠足！



草野・飯樋幼稚園内の施設と、吉倉公務員宿舎で開かれている「子育てサロン」のメンバーが、合同で親子遠足を楽しみました。行先は福島市内の2つの施設です。村のバスを利用し、まずは「十六沼公園」に出発！現地では大型遊具で元気いっぱい遊んでお昼ご飯を食べました。午後はボールプールやトランポリンなど多くの室内遊具を備えた「わくわくひろば にじ」へ。一日を通して体を使った遊びを存分に楽しみました。

◀十六沼公園の「ぴよんぴよんドーム」は皆のお気に入り

看護 40 年の功労に感謝状

松井なつ子さん（上飯樋）に県から看護功労者知事感謝状が贈られました。松井さんは平成9年の開所時から「いいたてホーム」に勤務。以前の病院勤務と合わせ40年間看護に従事してきました。「皆といるのが楽しくて続けてこられたんです」と松井さん。同僚で主任介護士の小林明美さん（前田・八和木）はそんな松井さんについて「利用者さんが待つ、ホームになくてはならない人です」と話していました。

「日々の積み重ね」と過ぎし日を振り返る松井さん（いいたてホームで5月26日撮影）▼



ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします



ニホンカモシカの出没相次ぐ



5月22日に佐藤俊雄さん（草野）が県道12号線の芦原バス停南側でニホンカモシカを目撃。また同30日には杉浦光一さん（伊丹沢）が、南相馬市大原付近の同県道で死亡しているニホンカモシカを発見し通報しました。

ニホンカモシカは国の特別天然記念物です。見かけても山へ帰るのをそっと見守り、村内で死亡していた場合には、村教育課生涯学習係（☎024-562-4240）までお知らせください。

◀22日に目撃された時の写真（佐藤俊雄さん提供）

かーちゃんたちの「さなぶり」イベント



「かーちゃんのか・プロジェクト協議会」（渡邊とみ子会長）が、田植えを終えた際に振る舞いを行う「さなぶり」を、福島市松川町の活動拠点「あぶくま茶屋」で開きました。会場には、県外を含む各所から多くの方が来場。柏餅作りを体験したり、かーちゃん手作りの農産加工品を購入したりしてイベントを楽しみました。また、かーちゃんたちからは、日ごろの支援に感謝をこめて、手作りの柏餅が振る舞われました。

▶柏餅作りのコツを教える高橋トク子さん（写真左端・深谷）

